手描き 陶器
T346-313-05
格子錆十草 飯碗
12.1×H6.8㎝ ¥1,200

手描き 陶器
T346-313-06
二色十草 飯碗
12.1×H6.8㎝ ¥1,200

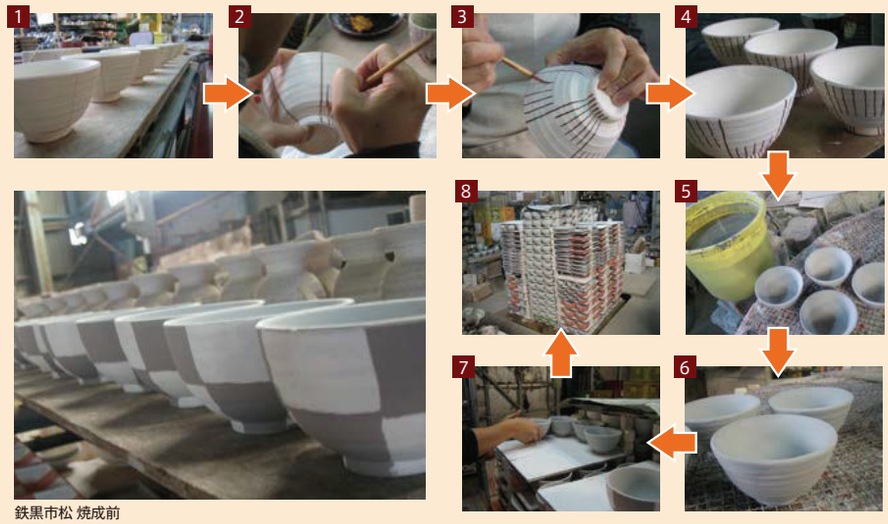
格子錆十草　飯碗の出来るまで

岐阜県土岐市の美濃焼窯元、株式会社森川謹製

- 7種類の原料(陶土)をブレンドした粘土を石膏型で成型、乾燥後800℃で素焼きします。
- それに粉引(白系の釉薬)を塗って自然乾燥させて用意(写真1)しておきます。
- 錆色の絵具で筆を使いひとつひとつ手仕事で描き上げ(写真2・3・4)ます。
- その後透明釉(灰色の液体)の樽に浸して施釉(写真5・6)します。
- 本焼成のために窯を作ります。窯を作るというのは、手描きなどして用意した様々なサイズや形状の半製品(器)を棚板にのせて組み上げていく作業(写真7・8)です。

熟練の仕事人だからできる工程です。それをシャトル窯に入れ約1280℃で24時間焼成します。約24時間かけて熱を冷ましながら窯の扉を開けて焼きあげられた器を取り出します。
粘土は調合されていても毎回違いがありますし、窯の中の温度の上がり具合や外気温によっても、焼き上がった製品の発色などには微妙な違いがあると言います。

土物の原料を使う陶器は「焼き物」であると改めて知ることが出来ます。手間をかけ丹精込めて作られる焼き物です。
手描きの柄の雰囲気、釉薬や絵具の発色など、ひとつひとつの器の個性としてお楽しみいただきながらご愛用いただけると嬉しいです。



鉄黒市松 焼成前

T346-312-21
乱刷毛 小丼
φ10.5×H6.8㎝ ¥930

T346-312-22
白刷毛 小丼
φ10.5×H6.8㎝ ¥930

T346-309-03
明神プチ丼
φ10.3×H7.2㎝ ¥460

T346-DN14
ライスボウル10
10.3×H7.2cm ¥460
内柄

T346-DN44
ライスボウル10
10.3×H7.2cm ¥460
内柄

T346-8666-3301
FLORA(GR)飯碗
φ11.6×H6.6cm ¥1,000

T346-8666-3302
FLORA(OR)飯碗
φ11.6×H6.6cm ¥1,000

T346-02-25
黒備前飯碗(大)
φ12.5×H6.5cm ¥680

陶器
T346-290-6001
ゴス十草　変形茶碗
φ12×H6.2㎝ ¥750

陶器
T346-911-0310
翠(みどり)飯碗
φ12.0×H6.3㎝ ¥1,280